

平成29年第3回（9月）瀬戸内市議会定例会

教育委員会行政報告

市長の行政報告に引き続き、教育委員会から行政報告をいたします。

夏季休業期間を中心に各種スポーツ大会が行われており、中国中学校選手権大会で、陸上競技男子1500mで1年の部優勝、2年の部第4位、水泳競技女子200mバタフライの部第8位、また、B&Gスポーツ大会中国ブロック大会では、カヌー競技の中学生女子の部と高校生女子の部で優勝、ローボート競技の男子の部及び女子の部ともに優勝するなど健闘しました。教育委員会としても子どもたちの活躍を大変うれしく思っており、引き続き支援の充実に努めていきたいと考えています。

以上を申し上げ、行政報告に移らせていただきます。

○ 学力・学習状況調査について

本年4月に実施された学力・学習状況調査の結果について概要をお知らせします。

今年度は、全国調査が小学校6年生と中学校3年生の国語、算数・数学の2教科を、県調査は拡充され小学校3年生から5年生、中学校1年生を対象に国語、算数・数学の2教科を、中学校2年生は国語、数学、英語の3教科を、市独自の調査は県調査の拡充に伴い中学校1年生の社会、理科の2教科について実施しました。

その結果、全国調査については、全国、県に比べ両学年、教科とも平均以上となっています。県及び市の調査については、概ね目標値と同程

度以上ですが、一部学年の教科で課題がみられました。

学習状況調査では、学習面においては、自分で計画を立てて家庭学習をしている児童生徒は増加しています。

生活面においては、家庭でゲームをする時間や携帯電話、スマートフォンの使用時間が少ない児童生徒は、正答率が高い傾向が見られます。

学力・学習状況調査は、児童生徒の学力面と生活面の実態や課題を的確に把握し、各学校の実情に応じた取り組みや児童生徒の実態に応じた指導を進める上で、貴重な資料となっています。

今後も、学力・学習状況調査の結果を真摯に捉え、教師の授業力と児童生徒の学習意欲の向上に活かしていきます。

○ 学校施設整備について

邑久中学校北棟大規模改造工事は、8月初旬に仮設校舎への引っ越しも終わり、平成30年度の完成に向けて、本格的に本体工事を進めています。

また、公共施設等先進的CO₂排出削減対策モデル事業による小中学校の省エネ型空調設備やLED照明等の整備については、夏季休業期間に牛窓中学校と長船中学校の改修を終えました。

それぞれの整備に当たっては、学校及び関係機関と連携を図りながら、夏季休業期間を有効に活用するなど、学校教育活動への影響に配慮しながら計画的に実施するとともに、事故やけがの無いよう安全管理を徹底しています。

○ 邑久学校給食調理場の業務委託について

更新が必要だった邑久学校給食調理場の炊飯器については、夏季休業期間に整備を行い、2学期以降の米飯委託の回数を現在の週3回から2回とし、1回を調理場で炊飯する計画としていました。これを見据え、臨時調理員を確保するため、4月からは賃金単価の見直しも図り、ホームページやハローワーク等での求人を引き続き行ったところですが、炊飯器稼働を含めた最低必要人数が確保できませんでした。

そのため、週3回の炊飯業務委託については2学期以降も継続することとしました。

また、今年度中に退職者の予定もあり、今後もさらに安全・安心で安定的な給食の提供のための調理員の確保が難しい状況が考えられるため、平成30年度からは邑久学校給食調理場の調理・配送・洗浄業務について民間委託をせざるを得ない状況となっています。

なお、これらの実施に当たっては所要の措置を講じる必要があるため、今議会に関係予算を計上しています。

○ 備前長船刀剣博物館の特別展について

備前長船刀剣博物館では、8月4日から8月27日まで特別展「新作家名刀展」を開催しました。この中には、備前おさふね刀剣の里の刀鍛冶である安藤刀匠が短刀部門で、片山彫金師が刀身彫部門で優秀賞を受賞した作品を始め62点を展示しました。

9月2日から11月12日までは、特別展「華麗なる備前刀—とある愛刀家たちの名品展」を開催しています。今回は、岡山県指定重要文化財の「無銘 伝福岡一文字」や重要美術品の「雲生^{うんしょう}」等、愛刀家が秘蔵している備前刀の名品を約40口^{ふり}展示しています。今回の特別展では、

これまで当博物館ではほとんど展示したことのない備前刀の名品たちを一堂に見ることができます。

○ 瀬戸内市立美術館の企画展について

美術館では、9月9日から10月15日まで、企画展「小林白汀展こばやしはくてい—なぎさからの風景—」を開催します。岡山の書家・小林白汀は、漢字や仮名などにとらわれず、書壇からも一線をおきながら書一筋に打ち込みました。古典に学び創造を切り拓く白汀の書は、いまでも多くの人を魅了しています。

10月21日から12月10日まで、企画展「緑川洋一展—山紫水明—」を開催します。瀬戸内市出身の写真家・緑川洋一の作品から、40代から50代にかけて、国立公園をテーマに日本各地の美しい自然を撮影していた頃の作品を中心に展示します。

また、文化団体との協働事業として、来館者と話をしながら作品を鑑賞する対話型鑑賞会を定期的実施しています。みる楽しさ、対話する楽しさを味わう体験を通して、美術をより身近なものにし、瀬戸内市の文化色豊かなまちづくりを目指しています。

以上をもって、教育委員会の行政報告とさせていただきます。

平成29年9月6日

瀬戸内市教育委員会

教育長 柴崎 伸次